

# 施策マネジメントシート

作成日 平成 30 年 8 月 31 日

施策	No. 05	もてなしの心があふれる観光地づくり				
施策 主管課	観光商工課	氏名	小宮山昌彦	施策 関係課	生涯学習課、芦川支所	

## 1. 現状把握 Plan→Do

### (1) 施策の目的と指標

① 対象 (誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 ◇首都圏及び中部圏の住民 ◇笛吹市を訪れた観光客	③ 対象指標名称 (対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない (単位)
	a 首都圏及び中部圏の人口 万人
	b 石和温泉・果実郷周辺年間観光客数 万人
② 意図 (対象をどういう状態に変えるのか) ◇笛吹市を訪れる。 ◇再び笛吹市を訪れる。	④ 成果指標名称 (意図の達成度の指標) 数字は記入しない (単位)
	d 石和温泉・果実郷周辺年間観光客数 (延べ人数) 万人
	e 石和温泉郷年間宿泊客数 (推計宿泊数) 万人
	f フィルムコミッションによる誘致件数 件
	g
	h
⑤ 成果指標設定の考え方 ◇笛吹市を訪れた観光客を石和温泉・果実郷周辺の年間観光客数と年間宿泊客数で捉える。◇観光地の情報発信、プロモーション活動をフィルムコミッションによる誘致件数で捉える。	⑥ 成果指標の取得方法 ◇観光客数は山梨県観光入込み客統計調査結果(石和温泉・果実郷周辺)ののべ人数。◇石和温泉年間宿泊客数は、観光庁宿泊統計データによる推計値。◇フィルムコミッション誘致件数は観光商工課把握。

### (2) 指標・事業費等の実績推移と目標値

			23年度 実績、決算	24年度 実績、決算	25年度 実績、決算	26年度 実績、決算	27年度 実績、決算	28年度 実績、決算	29年度 最終目標	
対象 指標	a 首都圏及び中部圏の人口	万人	見込み値	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	
		万人	実績値	6,755	6,743	6,737	6,739	6,540	6,539	6,559
	b 石和温泉・果実郷周辺年間観光客数	万人	見込み値	345	345	345	345	345	345	345
		万人	実績値	304	342	327	350	329	316	312
	c		見込み値							
			実績値							
成果 指標	d 石和温泉・果実郷周辺年間観光客数 (延べ人数)	万人	成り行き値	300	305	305	305	305	305	305
		万人	目標値	320	330	330	330	335	335	340
		万人	実績値	304	342	327	350	329	316	312
	e 石和温泉郷年間宿泊客数 (推計宿泊数)	万人	成り行き値	85	84	84	84	84	84	84
		万人	目標値	100	100	86	87	88	89	90
		万人	実績値	84	92	93	103	154	143	154
	f フィルムコミッションによる誘致件数	件	成り行き値	5	5	6	6	6	6	6
		件	目標値	10	10	15	16	17	18	19
		件	実績値	14	22	20	20	16	16	16
	g		成り行き値							
			目標値							
			実績値							
h		成り行き値								
		目標値								
		実績値								
施策コスト	事務事業数		本			10	16	10	11	11
	事業費 (A)		千円	197,247	196,822	233,673	208,894	393,014	198,252	221,773
	うち一般財源 (A')		千円	142,457	164,995	176,379	171,908	171,038	170,790	189,814
	人件費 (B)		千円	56,764	60,139	53,305	54,958	55,332	34,093	33,421
	トータルコスト (A+B) (C)		千円	254,011	256,961	286,978	263,852	448,346	232,345	255,194
うち一財 (A'+B) (C')		千円	199,221	225,134	229,684	226,866	226,370	204,883	223,235	

### (3) 施策の目標設定の根拠 (水準の理由と前提条件)

◇後期基本計画策定に伴い成り行き値、目標値の再設定を行った。
◇石和温泉・果実郷周辺観光客数:成り行き値は、H23年度を基に305万人に設定。目標値は、H23年度目標値を基にH29年度に340万人となるよう設定。
※H23.3の東日本大震災の影響を考慮し、H26年度までは目標値を据え置いた。
◇石和温泉郷年間宿泊客数:成り行き値は、H23年度実績値程度で設定。目標値は、H23年度実績値を基にH25年度を86万人に設定し、毎年1万人増とする。
◇フィルムコミッションによる誘致件数: 成り行き値は、過去の実績を基に設定。目標値は、23年度実績を基に毎年1件増と設定。

### (4) 施策の役割分担 (住民と行政との役割分担)

<b>ア) 住民の役割 (住民・地域・団体・事業所が、自助・共助でやるべきこと)</b> ◇市民は、地域を知り、郷土愛を持って来訪者に接し温かくもてなす。また、観光情報を発信し、イベントや宣伝活動により誘客活動を行う。 ◇観光事業所は、観光情報を発信し、イベントや宣伝活動により誘客活動を行い、観光客にサービス(宿泊場所、温泉、果物狩、飲食)を提供する。	<b>イ) 行政の役割 (市・県・国がやるべきこと)</b> 魅力ある観光地作りのため ◇市は、イベントや宣伝活動により誘客活動を行う。 ◇市は、観光物産連盟と連携して事業展開を図る。 ◇市は、観光情報を発信、市の知名度アップに努める。 ◇県は、山梨県の観光情報を発信する。
---	--

(5)環境変化 (対象者や根拠法令等は5年前と比べてどう変わったのか?)

◇近年は、旅行形態の変化により観光客が減少している。  
 ◇H25.4.10に「日本一桃源郷宣言」と「笛吹市桃源郷の日」を制定した。  
 ◇H25年度、富士山が世界文化遺産として登録された。  
 ◇2027年東京・名古屋間リニア営業開始が決定した。  
 ◇2020年東京オリンピック開催が決定した。

(6)関係者の意見・要望 (住民、議会、対象者、利害関係者等)

◇市民から、市の知名度を高め、イベントや宣伝活動に力を注ぎ、より多くの観光客の誘客に努めてほしいとの意見がある。  
 ◇市民から、温泉とモモ・ブドウなどの多くの資源を活用した観光地づくりを望む意見がある。  
 ◇観光関係者から目的地型観光商品の創設を求める声がある。  
 ◇富士五湖周辺に集中している観光客を、石和温泉・春日居温泉郷へも導きたい。

2. H29年度の施策の実績 Check

(1)施策の成果実績

<p>① 目標達成度評価 (前年度目標値と実績値との比較)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目標値より高い実績値だった</li> <li>○ 目標値どおりの実績値だった</li> <li>● 目標値より低い実績値だった</li> </ul>	<p>⇒左記の背景として考えられること</p> <p>◇石和温泉・果実郷周辺年間観光客数(延べ人数)は、目標値340万人に対し、実績値は312万人と低い数値であった。これはこれまでのインバウンド観光客の旅行形態が団体旅行から個人旅行へ変化したこと、また富士山方面から箱根、大阪、京都へと移動してしまうことなどが挙げられる。        ◇石和温泉郷年間宿泊客数(推計宿泊数)は、目標値90万人に対し、実績値は154万人と高い数値であった。観光客数は減少傾向にあるが、富士山世界文化遺産登録による富士河口湖方面を訪れる観光客は増加し、それに伴って本市への宿泊者は増加している。        ◇フィルムコミッションによる誘致件数は、目標値19件に対し、実績値は16件と低い数値であった。継続的に積極的な受け入れ態勢を取っているが、撮影条件に合致しないケースもありなかなか誘致に繋がっていないものもある。</p>
<p>② 時系列比較 (過去3か年の比較)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 成果がかなり向上した</li> <li>○ 成果がどちらかと言えば向上した</li> <li>● 成果はほとんど変わらない(横ばい状態)</li> <li>○ 成果がどちらかと言えば低下した</li> <li>○ 成果がかなり低下した</li> </ul>	<p>⇒左記の背景として考えられること</p> <p>◇石和温泉・果実郷周辺年間観光客数(延べ人数)は、H27年度329万人、H28年度316万人、H29年度312万人と年々減少傾向にある。インバウンドの減少、長期の景気低迷の影響による旅行費節減等が影響していると考えられる。        ◇石和温泉郷年間宿泊客数(推計宿泊数)は、H27年度154万人、H28年度143万人、H29年度154万人となっている。H28年度は低下に転じたがH29年度は増加傾向となった。(旅行形態の変化により減少が見られたが、旅館、ホテルが徐々に個人旅行者への対応もできるようになった。)        ◇フィルムコミッションによる誘致件数は、H27年度16件、H28年度16件、H29年度16件と横ばい状態であった。積極的な受け入れ態勢を取っているが撮影条件に合致しないケースもあった。</p>
<p>③ 他自治体との成果実績値の比較</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他自治体と比べてかなり高い成果水準である</li> <li>○ 他自治体と比べてどちらかと言えば高い成果水準である</li> <li>● 他自治体と比べてほぼ同水準である</li> <li>○ 他自治体と比べてどちらかと言えば低い成果水準である</li> <li>○ 他自治体と比べてかなり低い成果水準である</li> </ul> <p>比較自治体名⇒ 甲府市、富士河口湖町</p>	<p>⇒左記の背景として考えられること</p> <p>◇観光客入込客数(延べ人数)について、H29年度年は、笛吹市312万人、甲府市487万人、富士河口湖町682万人となっている。対前年比、笛吹市98.6%、甲府市101.2%、富士河口湖町100.3%と増加率は他市より低めであった。        ◇年間宿泊客数(実人数)は、H29年度は、笛吹市154万人、甲府市90万人、富士河口湖町307万人となっている。対前年比、笛吹市107.6%、甲府市70.8%、富士河口湖町107.7%であった。</p>

(2)施策のコスト実績 (対象1単位当たり又は住民一人当たりのコスト)

対象指標名称⇒ 観光客数	(単位)	27 年度	28 年度	29 年度	効率性評価
*対象指標実績値 (D) (1枚目の b )	万人	6,540	6,539	6,559	◇目標値より低い実績値だった上、コストが増加したため、効率性は低下したと判断できる。
*対象1単位当たり事業費 (1枚目 A / D)	円	60,094	30,318	33,812	
*対象1単位当たり人件費 (1枚目 B / D)	円	8,461	5,214	5,095	
*対象1単位当たりトータルコスト (1枚目 C / D)	円	68,554	35,532	38,907	

3.最終的な施策の総括 Action

(1)達成状況の分析(理由と改善点)

◇H25年度山梨県観光客動態調査結果の観光客の満足度をみると、峡東圏域では県全域と比べて、「地元のおもてなし」を除く「自然景観」「文化・歴史」「観光施設」「食べもの」「公共交通」については県平均を上回っており、全体的な満足度も高い。一方「道路整備」「案内標識・看板」の満足度は他の圏域に比較して最も低い状況である。  
 ◇富士山の世界文化遺産登録効果やインバウンドの増加により、観光客は増加したが、近年、旅行形態の変化により減少傾向にある。  
 ◇大手旅行代理店に対する市長トップセールスや情報交換活動、新聞・雑誌への広告掲載、海外向けパンフレット作成等実施している。(観光宣伝事業)  
 ◇県外の人に笛吹市の名称が定着していない。桃・ブドウ日本一を活かした観光振興策を検討していく必要がある。(観光イベント事業)  
 ◇観光の形態が「団体」から「個人」へ変化し、観光客のニーズが「観て歩き」から「個人」「体験」「食」と多様化している。ターゲットを明確にした観光地づくり及び地域資源を活かした観光メニューづくりや、おもてなしの心をもった人材育成に力を入れていく必要がある。  
 ◇首都圏及び中部圏の観光業者への市長トップセールスに力を入れていく必要がある。(観光宣伝事業)  
 ◇桃源郷春まつりについて、メイン会場を設け全市的に展開を行った。また、PRを一体的に行い、期間も各地の花どころを紹介するため長く設定したことで、参加者数が増えている。  
 ◇すずらんの里祭り会場にて継続的に行っているアンケート調査では、「また来たい」との感想が95～97%と高い割合となっている。  
 ◇県おもてなし条例や、市観光アクションプランに基づき、笛吹市の知名度アップに努め、観光客の誘客や、宿泊観光客の増加に結びつける、効果的な施策展開に努める必要がある。◇リニア展望スポットとして八代ふるさと公園に展望台を設置したが、リニアの走行時刻が明示されないため、PRしづらい。  
 ◇すずらんの群生地面積が減少している。